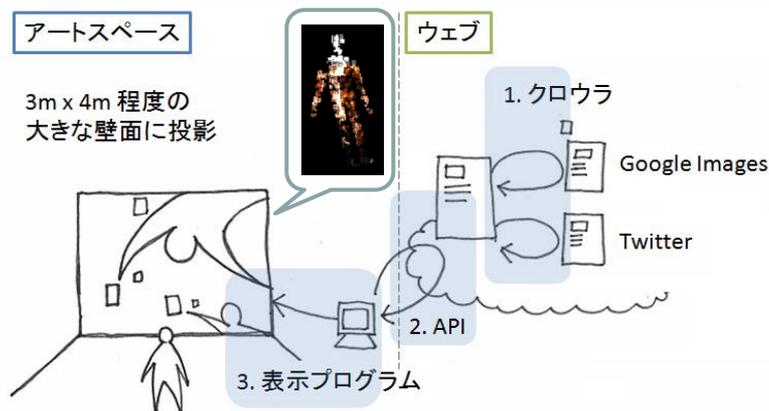


# 情報集合としての人を表すCG エージェントの相互作用によるメディア・アート “Dancing Information” の開発 — 自己の再発見、つながりの中での興味の拡張 —

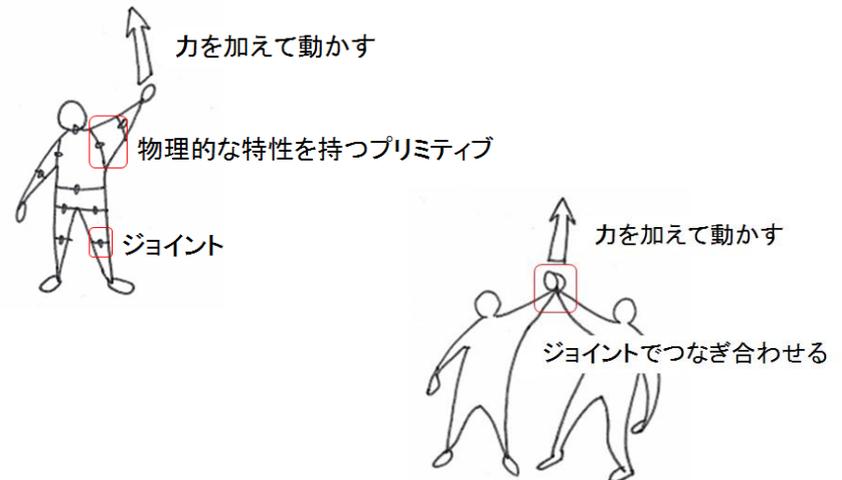
チーフクリエイター; 日野 亜希子(京都大学)、コクリエイター; 日野 洋一郎(学校ネット株式会社)、大槻 憲弘(フリーランス)

アートスペースに展示するメディア・アートを志向し、システムを開発しました。訪問者が入力したTwitterのIDに対応するウェブサイトから画像を収集し、立体的な人型にコラージュします。時に、つながりのある他者のコラージュも生成します。これらを踊らせ、コラージュを構成する画像を随時変化させます。訪問者に対して、自己の興味が再発見し、他者を通じて興味が拡張する、「考えるきっかけ」を提供します。

※メディアアートフェスティバルARS Electronica Festivalにて2010年9月2日から11日まで展示 <http://new.aec.at/repair/en/2010/07/16/akiko-hino-dancing-information/>



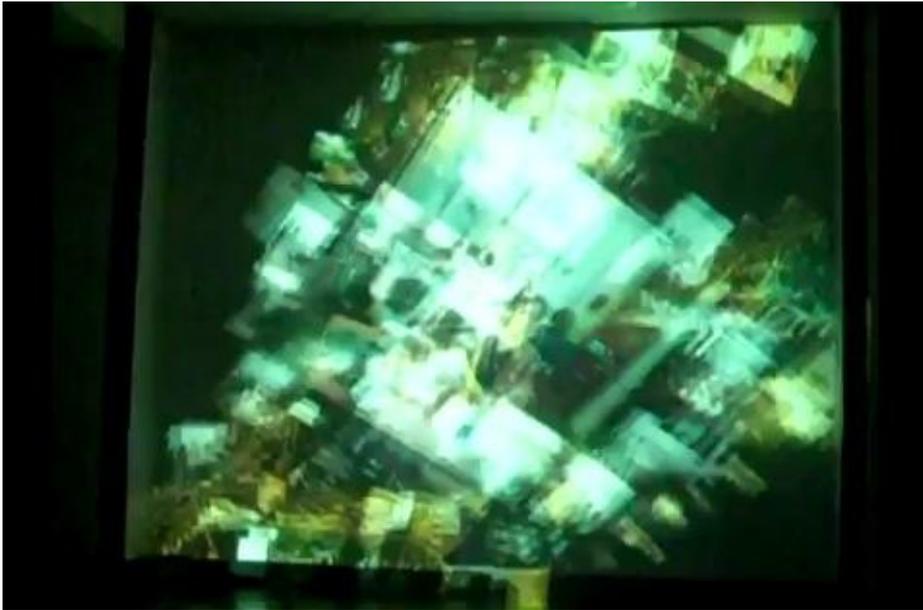
<システムと展示の概要>



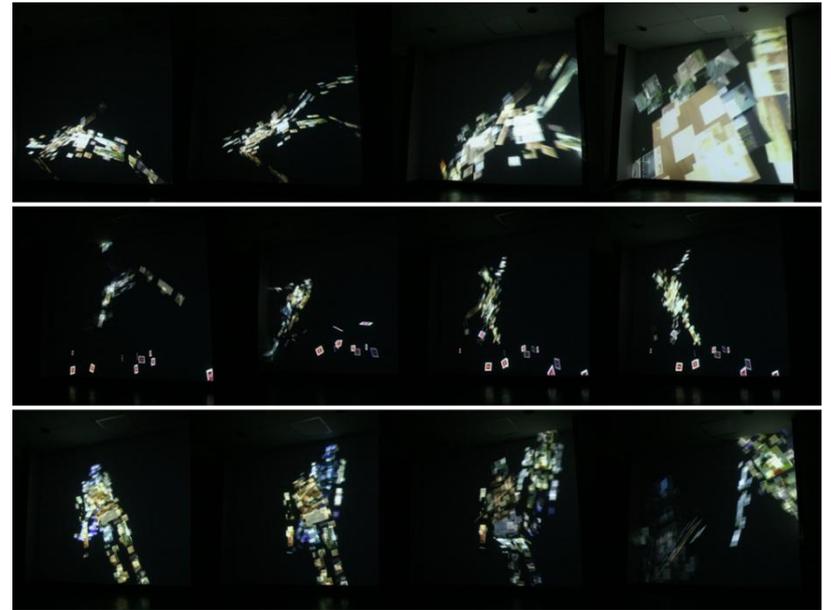
<人型のモデルと動作の概要>

情報集合としての人を表すCG エージェントの相互作用によるメディア・アート  
“Dancing Information” の開発  
— 自己の再発見、つながりの中での興味の拡張 —

チーフクリエイター; 日野 亜希子(京都大学)、コクリエイター; 日野 洋一郎(学校ネット株式会社)、大槻 憲弘(フリーランス)



<ホール壁面への投影>



<映像が移り変わる様子>